

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第8号 平成27年5月23日

智好調を維持、たまも復調の当たり・・・

11三振、10与四死球で敗戦・・・

	1	2	3	4	5	6	7	8	R
R	2	0	0	0	0	0	0		2
G	0	0	0	0	0	0	0		0



対戦成績を五部に戻し、これから貯金生活に入るか？はたまた、借金生活となるのか？その行方を掛けて、SCL交流戦、レッドスピリッツ戦を奥戸球場に向き行った。今日のマウンドは林が上がる、前節突如制球を乱し、敗戦としたが、今日は熟練の味を出せるか？また、打線においては、前節2戦ともバットが振っていただけに、こちらも今日は楽しみであった。林の入りはストライク先行、その後追い込むものの、結果は不運なライトの前に落ちる安打で出塁を許す。次打者は二ゴロに打ち取り、一死としたが三番の打球を野手が躊躇し、結果頭上を越される2ベースとなる。この間に走者が生還し、1点を失点、更には4番に低めの打球を上手く拾われ、レフト頭上を越される2ベースで2点目、次打者を左邪飛に斬り二死としたが、後続二打者に連続死球を献上し、二死満塁としたが、次打者を二飛に斬り初回を2点の失点に収めた。その後3回目まで共に走者を一人出すものの、膠着状態となった。しかし、4回の攻撃、最近好調の智が、2球目を叩くと、打球はエンタイトルルの2ベースで出塁、しかしながら後続はなすすべなく、残塁とした。結果、林は5回でマウンドを降りたが、失点は初回の2点のみでゲームをまとめた。が、依然我がチームは相手投手を打ち崩せない。6回から暢造がマウンドに上がり、四球で出した走者を犠打で二塁まで進められるも、その後を抑え、以前得点差は2点。その裏、今日一番のチャンスが訪れた。先頭の政司が死球で出塁、その後哲也の進塁打で二塁に進塁、そして、3番暢造の打球は、ショートへのやや詰まった打球、この打球に走者政司が上手い処理を見せ、結果野手の失策を誘い、場面は一死一・三塁になったかに見えたが、サードベースをオーバーランした走者がタッチアウトで、今日一番のチャンスを逸してしまった。次打者が4番、この4番は次打席に左中間2ベースを放っただけに、非常に悔やまれる内容である。そして、互いに得点する事が出来ず、ゲームセットで敗戦となった。相手安打は3、こちらは2、失策は相手が1に対して、こちらは0、とこの数字だけを見ると、非常に僅差に見えるが、こちらは奪三振11、相手は2、与四死球は10、こちらは3個しか奪えず、四死球も出塁=安打と捉えると、結果は、相手13に対して、こちらは5個という事になるので、出塁機会の少なさが今日の敗戦という事になる。また、更に振り返ってみると、今日のゲームは交流戦である。という事は、公式戦に向けて、何かを感じる事も必要なゲームである。守備に於いては、1個ずつ確実に！という事がセオリーかも知れない。しかしながら、ゲッターを取る習慣・流、行くか行かないかの判断、更には状況変化を捉えた捕殺など、やらなければ決して身にならない事をしなかった、とも感じた。普段出来ないものは、公式戦で出来るはずもない、そのゲームの趣旨を感じながら、これから考えて野球をやろう！